

- 本市は岡山県の最西北端に位置し、全域が中国山地の脊梁地帯に属する起伏の多い地形で、総面積のうち、約68,000haを森林が占めている。過疎化や高齢化が進み林業労働力も減少する中、継続的な森林整備を行い、将来を見据えた森づくりを推進する。
- 令和3年度においては、以下の取組を実施した。
 - ・ 森林経営管理制度に基づき、新見市哲西地区における意向調査を委託により実施した。
 - ・ 皆伐後の市内山林に植栽した事業者に補助金交付を行う、「新見市植林促進事業」を実施した。
 - ・ 過疎化や高齢化などによる林業労働力の減少対策として、高性能林業機械の中古機械等の購入に対する補助金の交付を行う「新見市木材生産向上支援事業」を創設・実施した。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

- ・ 新見市哲西地区の私有林169.55ha(254筆、95名)の森林所有者を対象に、今後の森林経営管理の意向調査を実施。

【事業費】14,223千円（全額譲与税）

【実績】（意向調査）

回答者：73名 132.09ha 194筆（76.8%）

うち、市に委託を希望 40名 60.43ha 91筆（54.8%）

2 新見市植林促進事業

- ・ 植林を行った事業者に対して、100円/本を補助

【事業費】20,978千円（全額譲与税）

【実績】植栽本数 209,784本

（ヒノキ：151,044本、スギ：48,940本、他：9,800本）

3 新見市木材生産向上支援事業

- ・ 高性能林業機械の中古機械購入に係る経費の助成（補助率1/3 上限5,000千円）

【事業費】41,021千円（全額譲与税）

【実績】中古機械 14台 支援

□ 事業スキーム

1 市による意向調査の実施



2・3 新見市植林促進事業・新見市木材生産向上支援事業

